

(表紙)

【統合型リゾート OSAKA I R】

大阪の成長に向けて 始動

(パンフレット1頁目)

【I Rは、Integrated Resort の頭文字で統合型リゾートと呼ばれています】

大阪I Rは、ホテルや国際会議場、展示場、レストラン、エンターテインメント施設、カジノなどが一体となった施設で、MGM大阪株式会社が設置・運営するものです。

民間ならではの自由な発想で、ビジネス客やファミリー層など幅広い層が楽しめる魅力ある施設と質の高いサービスが提供されます。

<新しい出会いと体験の舞台 OSAKA I R>

- ・体験する／EXPERIENCE
- ・食べる／EAT
- ・泊まる／STAY
- ・ビジネスに活かす／BUSINESS
- ・リフレッシュする／REFRESH
- ・働く／WORK
- ・楽しむ／ENTERTAINMENT
- ・ショッピングする／SHOPPING

<I Rについてのギモン(1)>

Q 大阪府や大阪市がI Rを運営するの？

A I Rは、「民設民営」の事業であり、民間事業者であるI R事業者が整備や運営を行います。大阪府や大阪市、第三セクターがI Rの整備や運営を行うことはありません。

(パンフレット2頁目)

【大阪経済の成長や暮らしの充実につなげます】

人口減少や超高齢化が進み、需要・労働力の減少等が懸念される中において、今後の市場拡大など将来性が見込まれる成長産業への注力が必要です。

大阪では、これまで訪日外国人旅行者数が全国を上回る伸び率で増加するとともに、旅行消費額も大きく増加してきたところであり、引き続き観光産業には大きなニーズと将来性があります。

世界最高水準の成長型I Rの実現を図ることで、成長産業である観光分野の基幹産業化を図るとともに、大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとして、その成長力及び国際競争力を強化し、観光や地域経済の振興、財政の改善への貢献を持続的に発現します。

< I R立地による効果・地域への貢献 >

地域経済への効果（推計）

- ・経済波及効果（運営）※近畿圏 約 1 兆 1,400 億円／年
- ・雇用創出効果（運営）※近畿圏 約 9.3 万人／年
- ・地元調達額（運営）※近畿圏 約 2,600 億円／年
- ・雇用者数（I R施設） 約 1.5 万人

効果を最大化するための主な取組み

- ・イノベーションや新産業の創出支援
- ・地元産品の積極的な調達や地域ブランディングの向上
- ・質の高い雇用機会の提供や関西の人材基盤強化
- ・大阪・関西への送客強化や周遊促進、地域での消費喚起
（会員ポイントプログラムや ICT 等の総合活用 など） など

< 納付金・入場料の活用 >

I R事業者から納められる納付金や入場料を、住民福祉の増進や持続的な成長に向けて広く活用します。

- ・収入見込額 ※大阪府・市で均等配分
毎年約 1,060 億円の収入が見込まれます。
（納付金：約 740 億円／年 入場料：約 320 億円／年）

収入の使途

- ・ギャンブル等依存症対策、警察力や消防力の強化
- ・観光・地域経済・文化芸術の振興
- ・子育て・教育・健康・医療等の社会福祉の増進
- ・夢洲やその周辺の魅力向上 など

< I Rについてのギモン（2） >

Q 収入見込額は年間約 1,060 億円だけど、どんなことができる金額なの？

A 例えば、

- ・高等学校等の授業料無償化の府費負担分（府） 約 291 億円【令和 8 年度予算】
- ・0～2 歳児の保育料無償化（市） 約 88 億円【令和 8 年度予算】
- ・習い事・塾代助成事業（市） 約 95 億円【令和 8 年度予算】
- ・大阪中之島美術館の整備費用（市） 約 156 億円【事業期間：平成 28～令和 3 年度】など、年間 1,060 億円というのは、様々な事業が実施できる規模の金額で、増税することな

く、I R 開業後に新たな財源として確保することを見込んでいます。

(パンフレット 3～4 頁目)

【「世界最高水準」の「成長型 I R」の実現に向けて】

あらゆるものを「結ぶ」結節点となる I R をめざします

大阪 I R は、MGM 大阪株式会社（中核株主：合同会社日本 MGM リゾーツ、オリックス株式会社／少数株主：関西地元企業を中心とする 22 社）が夢洲に設置し、運営します。

I R のリーディングカンパニーである MGM のノウハウに加え、MICE・魅力増進・観光・エンターテインメント等の各分野で豊富な実績を持つ協力会社とともに、国際競争力を有する I R を実現します。

世界最高水準の成長型 I R の実現に向けて、MGM・オリックス、関西企業等とともに、一丸となって取り組んでいきます。

コンセプト／結びの水都

- ・大阪・関西を世界とつなぐゲートウェイ
- ・豊かな水辺空間の魅力を体現

ビジョン／“WOW” Next

- ・“WOW” 体験（新鮮な驚きや感動）を提供
- ・新しい“WOW”を地域に届け、地域とともに創出

< TOPIC／大阪 I R の事業計画 >

- ・設置予定地：大阪湾の人工島「夢洲（ゆめしま）」
- ・敷地面積：約 49.2 万 m²
- ・総延床面積：約 78 万 m²
- ・初期投資額：約 1 兆 5,130 億円（税抜）
（建設関連投資：約 1 兆 1,950 億円、その他：約 3,180 億円）
- ・年間来訪者：約 2,000 万人
（国内：約 1,400 万人、国外：約 600 万人）
- ・年間売上：約 5,200 億円
（ノンゲーミング：約 1,000 億円、ゲーミング：約 4,200 億円）

（1）世界水準のオールインワン MICE 拠点を形成する国際会議場施設及び展示等施設

- ・国際会議場施設の最大会議室の収容人数は 6,000 人以上で、全室の総収容人数は約 12,000 人以上

- ・展示等施設の展示面積は約2万㎡で、多彩なイベントが開催可能

<TOPIC／MICE（マイス）>

MICE とは、国際会議や展示会等のビジネスイベントの総称で、観光振興にとどまらず、「人が集まる」という直接的な効果はもとより、ビジネス・イノベーションの機会の創造、地域への経済効果、国・都市の競争力向上といった、人の集積や交流から派生する付加価値を生み出すエンジンとなります。

（２）大阪・関西及び日本の魅力を創造・発信する魅力増進施設

- ・関西ジャパンハウスやジャパン・フードパビリオン等で、日本の伝統的な工芸文化や大阪・関西の食文化等の魅力を発信
- ・ガーデンシアターでは、伝統芸能に新たな表現手法を取り入れた革新的なコンテンツや体験型のイベント等を提供

（３）大阪 I R から日本各地に観光客を送り出す送客施設

- ・関西ツーリズムセンターで、最先端技術を活用した観光情報の提供、専門人材や AI による観光案内等により、府内・関西はもちろんのこと、日本各地に観光客を送出
- ・大規模なバスターミナルや、フェリーターミナルを整備し、アクセス機能を強化

（４）利用者ニーズに対応した特色ある宿泊施設

- ・エンターテインメントホテル、多世代型アクアリゾートホテル、VIP 向け最高級ホテルで構成され、ビジネス客やファミリー層、富裕層など、多様な宿泊へのニーズに対応
- ・３つのホテルの総客室数は、約 2,500 室

（５）国際的なエンターテインメント拠点をめざす来訪及び滞在寄与施設

- ・約 3,500 席の夢洲シアターで、新しいエンターテインメントを世界に向けて発信するとともに、大阪 I R でしか見られないショーやイベントなどを開催
- ・ウォーターフロントでは、イベント等の開催によりにぎわいを創出し、多様な体験を提供

（６）世界最高水準の規制の下での公正・廉潔なカジノ施設

- ・ゲーミング区域は、I R 施設の床面積の合計の 3 % 以内とし、適切な国の監視・管理の下で運営
- ・カジノ施設を利用しない来訪者へ配慮した配置・デザインを計画

（パンフレット 5 頁目）

【I R 整備法による規制に加え、大阪独自の対策を講じ、懸念事項の最小化を図ります】

<ギャンブル等依存症対策>

大阪 I R の実現に向けて、既存のギャンブル等に起因するものも含めて、ギャンブル等依存症問題に正面から取り組み、ギャンブル等依存症対策のトップランナーをめざし、発症・進行・再発の各段階に応じた、防止・回復のための対策について、世界の先進事例に加え、大阪独自の対策をミックスした総合的な取組みを構築していきます。

< I R 整備法によるカジノ規制>

- ・ カジノ施設への入場料の賦課（1 回：6,000 円）
- ・ 入場等回数の制限（7 日間：3 回、28 日間：10 回）
- ・ 厳格な本人確認（マイナンバーカードを利用した入場規制等）
- ・ 広告勧誘規制（I R 区域外での広告物表示の禁止等）
- ・ 本人・家族等の申出による利用制限措置
- ・ゲーミング区域は I R 施設の床面積の合計の 3 % 以内 など

< I R 事業者の対策例>

MGM の知見やノウハウを最大限活かし、責任あるゲーミングの取組みを着実に実施します。

厳格な入退場管理・利用制限措置

- ・最先端の ICT 技術の活用等による厳格な入退場管理

普及啓発の強化

- ・依存防止プログラムや相談機関等の普及啓発のためのリーフレット等の配架
- ・ゲーミング教室等を通じた安全なプレイの推進

相談体制の構築

- ・24 時間・365 日利用可能な相談体制等の構築

その他事業者独自の対策

- ・視認と ICT 技術を活用した問題あるギャンブル行動の早期発見
- ・賭け金額や滞在時間の上限設定を可能にするプログラムの導入
- ・外部の提言機関からの助言の提供
- ・大阪における専門人材育成への協力 など

<大阪府・市の対策例>

普及啓発・相談支援体制・治療体制・切れ目のない回復支援体制の強化とともに、大阪独自の支援体制構築を推進します。

大阪独自の支援体制の構築

- ・悩みを抱える方へのワンストップの支援拠点として「(仮称) 大阪依存症対策センター」を設置

普及啓発の強化

- ・若年層向けの予防啓発
- ・SNS 等を活用した広報啓発

相談支援体制の強化

- ・身近な相談拠点での相談対応
- ・研修等による相談員等の育成

治療体制の強化

- ・専門治療プログラムの普及支援
- ・大学や研究機関との連携による治療の充実

切れ目のない回復支援体制の強化

- ・行政・民間団体が連携しての回復支援

その他の対策

- ・ギャンブル等依存症研究の推進 など

【TOPIC】ギャンブル等依存症対策の大阪府・市の取組み状況

令和 8 年 3 月に策定された「第 3 期大阪府ギャンブル等依存症対策推進計画」(計画期間：令和 8 年度～令和 10 年度) に基づき、着実に取組みを実施しています。

<主な取組み>

- ・依存症ポータルサイトの運営
- ・「(仮称)大阪依存症対策センター」の開設準備
- ・相談支援等を担う人材の養成
- ・「大阪依存症ほっとライン」の実施 など

(パンフレット 6 頁目)

＜治安・地域風俗環境対策＞

夢洲における警察署等の設置や、大阪府警察の警察職員の増員など、警察力の強化を図った上で、ＩＲ事業者との適切な役割分担のもと、治安・地域風俗環境対策に取り組みます。

＜ＩＲ事業者の対策例＞

- ・防犯カメラによる監視や 24 時間・365 日体制の自主警備
- ・カジノ施設への暴力団員等や 20 歳未満の者の入場禁止
- ・マナー・ローンダリング対策や反社会的勢力の排除
- ・テロ対策やサイバーセキュリティの確保 など

＜大阪府・市の対策例＞

- ・夢洲における警察署等の設置や府警の警察職員の増員
- ・防犯環境の整備やパトロールの強化
- ・マナー・ローンダリング対策等の犯罪収益対策の推進
- ・夜間巡回や補導活動による青少年の保護 など

＜大阪ＩＲの開業に向けて＞

大阪・夢洲での世界最高水準の成長型ＩＲの実現をめざし、2030 年秋頃の開業に向けて、公民連携して取組みを進めていきます。

これまでの経過とＩＲ事業の工程（想定）

2023 年 4 月 区域整備計画の認定

2023 年 9 月 実施協定等の締結

2023 年 12 月 液状化対策工事の着手

2024 年 10 月 ＩＲ準備工事の着手

2025 年 4 月 ＩＲ建設工事の着手

2030 年夏頃 ＩＲ建設工事の完了※

2030 年秋頃 ＩＲ施設の開業※

※工程が最も早く進捗した場合の想定

（裏表紙）

大阪ＩＲの詳細な情報については、ＩＲ推進局のホームページをご覧ください。

大阪ＩＲ 検索

詳しくはこちら▶（ＱＲコード）

I Rに関する画像は、令和8年6月時点でのイメージであり、今後変更が生じる可能性があります。

大阪府・大阪市 I R推進局

〒559-8555 大阪市住之江区南港北 1-14-16

TEL 06 (6210) 9236

令和8年6月作成